

1. 調査報告概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成19年11月6日

【評価実施概要】

事業所番号	2775004399
法人名	株式会社 絹笠酒店
事業所名	グループホームやよい
所在地	東大阪市大蓮北3丁目5番5号 (電話) 06-6730-2000
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 19年 10月 19日

【情報提供票より】(平成 19年 10月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 10月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	10人	常勤	5人, 非常勤 5人, 常勤換算 8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000~50,000円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) ③			
保証金の有無 (入居一時金含む)	④ (300,000円)	有りの場合 償却の有無	④ / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500円			

(4) 利用者の概要 (平成 19年 10月 1日現在)

利用者人数	8名	男性	2名	女性	6名
要介護1	1名	要介護2	0名		
要介護3	4名	要介護4	3名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 79歳	最低	69歳	最高	85歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東大阪生協病院、福田歯科
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

営利法人が運営するグループホームで母体法人はヘルパーステーション、ケアプランセンターも運営しています。『住み慣れた地域での生活、通い慣れた商店街での買い物とその人らしい暮らしの実現をめざして「利用者本位」「尊厳の確保」の寄り添う介護を目指します』を理念として掲げ、利用者のなじみの生活環境の継続を支え、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながらその人らしく暮らしていけるよう支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、やさしい雰囲気です。協力病院の医師と職員として配置されている看護師のサポートが、利用者と家族に安心感を与えています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)</p> <p>前回の外部評価で示された事項について改善が進んでいます。利用者には笑顔と落ち着きが見られます。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は、管理者とケアマネジャーが中心になって作成し、職員の意見を取り入れながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所ケアマネジャー、町会長、婦人部長、地域住民、家族、利用者の参加のもとで、2ヶ月毎に開催しています。会議では運営状況や生活ぶり、外部評価結果の説明や看取り、地域との交流について話し合っています。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族との面会時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の健康や安全に関わる事項については必要の都度、電話で家族に報告しています。また季刊で「やよい便り」を発行し、行事や生活状況について報告しています。家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応しています。ご意見箱を備え付けており、申し入れがあればすぐに対応できるようにしています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホームは商店街の中にあり、ホームの設立者でもある管理者は同じ商店街で酒屋を営み、地域の自治会の役員もしています。利用者は商店街の馴染みの店で買い物し、喫茶店に通い、文化祭などの地域の行事に参加し、大掃除にも協力しています。また中学校の体験学習も受け入れています。</p>

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『住み慣れた地域での生活、通いなれた商店街での買い物とその人らしい暮らしの実現をめざして「利用者本位」「尊厳の確保」の寄り添う介護を目指します』を理念として掲げています。利用者のなじみの生活環境の継続を支え、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながらその人らしく暮らしていけるよう支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化してホーム内に掲示されています。毎日の業務を通じて、管理者と職員は理念を共有し介護サービスに反映させるよう話し合っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	ホームは商店街の中にあり、ホームの設立者でもある管理者は同じ商店街で酒屋を営み、地域の自治会の役員もしています。利用者は商店街の馴染みの店で買い物し、喫茶店に通い、文化祭などの地域の行事に参加し、大掃除にも協力しています。中学校の体験学習も受け入れています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について改善が進んでいます。自己評価は、管理者とケアマネジャーが中心になって作成し、職員の意見を取り入れながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所のケアマネジャー、町会長、婦人部長、地域住民、家族、利用者の参加のもとで、2ヶ月毎に開催しています。会議では運営状況や生活ぶり、外部評価結果の説明や看取り、地域との交流について話合っています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は市が開催する地域のケア会議やグループホームの会に参加交流し、サービスの質の向上に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の健康や安全に関わる事項については必要の都度、電話で家族に報告しています。また季刊で「やよい便り」を発行して、行事や生活状況について報告しています。金銭の預かりはしておらず立替払いをしており、利用者が買い物する時に自分で支払いができるよう支援をしています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応しています。ご意見箱を備え付けており、申し入れがあればすぐに対応するようにしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	この1年で多くの職員が退職し、新人職員の大幅な増員を実施してきましたが、ベテラン職員の頑張りや努力、新人職員のトレーニングの強化で、比較的短期間で問題の解消を図ることができています。今後、職員が異動することによる利用者への影響の大きさを理解し、異動を必要最小限に抑え、さらなる努力が望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修については種々の資料を使って実施していますが、外部研修についての取り組みが不足しています。	○	職員の外部研修について予め受講するテーマを設定し、できるだけ多くの職員が受講できるよう計画的に行うことが求められます。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は市が開催する事業者連絡会へ参加するとともに、大阪府下対象のネットワークにも加入し、他地域のグループホームとも交流があります。今後も職員の相互研鑽のため、各関係機関との交流を図る予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員は入居前の施設や家庭へ訪問していません。またホームの見学や、一日の体験入居を通じて馴染みの関係を作り、家族や本人の不安を取り除き、安心して入居サービスを受けられるようにしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	利用者が孤立することなく安心して日々の生活が送れるよう、それぞれが得意なことや仕事を持ち、ホーム内で役割を持って生き生きと活躍できるよう支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりが生き生きと生活を楽しめるように、利用者の思いや意向に合わせた生活を支援しています。買い物の時に自分自身で支払いを行う利用者の支援をしたり、居室の仏壇で拝むことが日課になっている利用者の支援をしたりしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の現在の暮らしや、心身の状況を把握し、医師の意見、利用者と家族の意向・願いを反映した介護計画を作成し、家族の同意も得ています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には6ヶ月毎に、状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。介護経過記録をもとにモニタリングを行い、カンファレンスを実施し、ケアプランの見直しにつなげています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力病院との連携や看護師の配置により、利用者の状態に必要な看護を行っています。また通院介助も行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者が希望するかかりつけ医師の医療を受診し、また往診もあります。通院介助もしています。協力病院と連携し、夜間や急変時の対応について体制を整備しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に、要望があれば看取りまで実施するというホームの方針を説明しています。利用者の状態に変化があれば、利用者・家族や医師の意向を再確認しながら方針を共有していく予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。利用者には笑顔が見られ、落ち着いた様子で過ごしています。個人情報の取り扱いについても職員に書面で周知徹底しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと好きなことをしながら暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。夜、居室に帰りたくない利用者には居間でソファベッドを作り、ゆったりと過ごしてもらいながら職員が見守っています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	全食事を職員が調理しています。買い物、食事準備、盛り付け、後片付け等に利用者も参加し、楽しんでいます。職員は利用者と同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しく和やかな雰囲気を作っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は週に2回、ゆっくり寛いだ入浴ができています。希望すれば毎日でも入浴可能です。	○	週に3回入浴できる体制と雰囲気作りが求められます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴を聞き取り、その人の趣味や楽しみごと、ホームでの役割の把握が十分でなく、楽しみごとや気晴らしの支援に活かされていません。	○	利用者や家族の協力を得て生活歴を聞き取り、その人の趣味や楽しみごとを把握し生活の支援に活かすことが求められます。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	商店街へ食材や日用品の買い物に行ったり、喫茶店やカラオケに行ったりすることが日常の行事になっています。外食や季節の花見にも出かけ楽しんでます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関のドアは内鍵方式になっています。職員の見守りにより利用者は自由に外出ができるようになっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害に備えた避難訓練を実施していません。食料と水の備蓄については特別な対応はありませんが、冷蔵庫や収納庫の在庫があり、最低限の量は確保しています。	○	年に2回、災害に備えた避難訓練を実施することが求められます。非常・災害時のための食料品と水の備蓄について「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成し、備蓄をすることが望まれます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量と水分摂取量の記録をとっています。栄養バランスについては看護師のアドバイスを受けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	商店街に面した民家風の玄関口にはベンチや手すりがあります。リビング兼ダイニングルームには食卓やソファ、テレビがあり、床にはホットカーペットが敷かれており、少し手狭ですが機能的で、なおかつ家庭的な温かみがあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホームは各居室にデザインの違うベッドを置き、家族の事情で家具を持ち込めない利用者の居室には整理ダンスや装飾品も置く等、利用者が居心地よく過ごせるよう工夫しています。仏壇や遺影、人形、装飾品、写真、その他の使い慣れた馴染みの古い物や生活用品を持ち込み、安心して過ごしている利用者もいます。</p>		